

【修士課程】カリキュラムマップ

	学年	（医）	（医）	（医）	（医）	基礎	分子	分子	（生）	（生）	（生）	（生）	（生）	（生）	（生）	医療	（生）	（生）	（生）	（生）	医療	医学	人体	学	医	医	公	備考	
		総論	生命特論	医学特論	医学特論	生命特論	生物学特論	細胞生物学特論	分子生物学特論	分子生物学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論	生体機能学特論		生体機能学特論
ディプロマポリシー		必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
		1	1	1	0.5	0.5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
1. 研究の背景・目的の意義を論理的に説明できる。	2年																							A	A	A	A		
	1年	C		C			B																B		B	B	B	B	
2. 内外の専攻分野の普遍的および最新の知識が十分である。	2年																							A	A	A	A		
	1年	C		C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
3. 研究方法の科学的な正当性をよく理解し、説明できる。	2年																								A	A	A		
	1年	C	C		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		B	B	B	
4. 研究結果を論理的に解釈し、考察、結論できる。	2年																							A	A	A	A		
	1年																								B	B	B	B	
5. 研究倫理に則り主体的に取り組むことができる。	2年																								A		A		
	1年	C	B													B		B					B		B		B		
6. 研究内容を発表・質疑応答する能力がある。	2年																							A	A	A	A		
	1年			B																				B	B	B	B		

*は1年次：参加、2年次：発表

難易度	
A	上級・応用段階
B	中級・発展段階
C	初級・基礎段階